



NEWS BOX

がんばろう! ものづくりの力を応援します!

宮城県内で産業の振興に貢献した技能者などを表彰する令和4年度宮城県職業能力開発関係表彰式が11月29日、多賀城市文化センターで行われた。表彰式では、卓越した技能で業界発展に寄与した技能者「宮城県卓越技能者（宮城の名工）」8人と、積極的に技能・技術の研鑽に精励している若年の技能者「宮城県青年技能者」12人を表彰した。



「宮城の名工」受賞者が登壇し、それぞれ褒状を受け取った



宮城県卓越技能者及び青年技能者を表彰
令和4年度
宮城県職業能力開発関係表彰式

「宮城の名工」8人と
「宮城県青年技能者」12人を表彰

宮城県内で産業の振興に貢献した技能者などを表彰する令和4年度宮城県職業能力開発関係表彰式が11月29日、多賀城市文化センターで行われた。表彰式では、卓越した技能で業界発展に寄与した技能者「宮城県卓越技能者（宮城の名工）」8人と、積極的に技能・技術の研鑽に精励している若年の技能者「宮城県青年技能者」12人を表彰した。



令和4年度
サイエンスプラスを開催

科学の魅力と
ものづくりの楽しさを体験!

12月10日、令和4年度「サイエンスプラス」が県と東北職業能力開発大学校（栗原市）の共催により、開催された。

子どもたちに体験学習の機会を提供し、ものづくりへの興味や関心を高めてもらうことを目的として開かれた同イベント。3年ぶりの開催となった今回は栗原地域の企業・学校を中心に14団体が出展し、様々なプログラムを行った。当日は県内各地から138人の親子連れが来場。プログラムを体験した子どもからは「コンクリー



コンクリート打楽器の製作風景



燃料電池車の製作風景

宮城新卒者等人材確保推進本部からのメッセージ

新型コロナウイルスの影響による企業の事業活動縮小が懸念される中、新規学校卒業者等の皆さまが安定した就職先を確保し、充実した職業生活を送ることができるよう、企業との懸け橋となる各種就職支援および職場定着支援を「就職・採用応援プラン」により推進します。

詳しくは、[宮城労働局ホームページ](#)をご覧ください



エンドーすずり館
遠藤 弘行
Hiroyuki Endo

雄勝硯に惜しめない愛情
伝統を未来につなぐ



「このままじゃ雄勝硯の職人はいなくなってしまっ。伝統をつなぐために自分にできることはやり切りたい」。雄勝硯をめぐる現状について口にするとき、その言葉は熱を帯びる。雄勝硯を手づくりする職人は片手で数えられるほど。若手の職人に教えを請われれば、惜しみなく自身の知識や技術を供する。雄勝硯は室町時代には既に作られており、その存在が広く知られるようになったのは400年ほど前。仙台藩祖・伊達政宗公が幕府に献上したのがきっかけだ。採石業から雄勝硯の知名度をより高めたいと硯職人に転じた父に師事し、腕を磨いた。「硯職人になれと言われたわけではないです。父が硯に施す彫刻を見て心を奪われた。自分もやりたいと思った」。原料である、雄勝地方で採れる玄昌石と向き合い刃を入れるとき、「夢中になる」というが、何よりやりがいを感じるのは書家をはじめとした使用者から直接、反応があったときだ。「時々、手紙なんかくれる人がいて、墨が自分の望むすれ具合になる、とか書いてあるとうれしくなるよね」と話し、頬をゆるませた。「雄勝硯の未来を何とかしなきゃ」。目に力がこもる。